

配信予定日：2025 年 9 月 30 日

【プレスリリース】

2025 年 9 月吉日

FIDO アライアンス セミナー事務局

第 12 回 FIDO 東京セミナー 開催決定

12 月 5 日（金） 12:00 開場

東京ポートシティ竹芝 ポートホール

パスワードのいない世界へ

～「パスキー」によるフィッシング対策と最新動向～

-
- ・パスワードに代わるオンライン認証のための技術仕様と認定プログラムの標準化を推進する FIDO アライアンスは、2014 年以來 12 回目となるセミナーの開催を決定
 - ・大規模なフィッシング被害が発生し、改めてオンライン認証の安全性が問われる中、「パスキー」がその対策として注目を集める
 - ・今年はキーノートスピーカーとしてデジタル庁 デジタル社会共通機能グループ 楠 正憲 統括官を迎える
 - ・警察庁と金融庁、そして「パスキー」の導入を発表した金融サービス事業者（予定を含む）からも登壇予定であり、現場の課題と対策について、多角的な視点から議論を深める予定

FIDO アライアンスは、来る 12 月 5 日（金）、第 12 回目となるセミナーを開催いたします。

従来のパスワードに依存しない新たな認証の仕組みが求められている中、[FIDO アライアンス](#)はセキュリティと利便性の両立をめざし、公開鍵暗号方式を活用した[シンプルで堅牢な認証技術](#)の仕様策定と[認定プログラム](#)の標準化、そしてその普及に努めています。

今回、“フィッシング対策としてのパスキー有効性と最新動向”をテーマに、第12回目となるFIDO 東京セミナーを対面で開催する運びとなりました。[昨年開催された第11回 FIDO 東京セミナー](#)では、パスキーの普及に向けた大きなモメンタムが生まれました。今年はその流れをさらに加速させるべく、より実践的な内容をお届けする予定です。

本セミナーではデジタル庁 デジタル社会共通機能グループ 楠 正憲 統括官をキーノートスピーカーとしてお迎えし、デジタルアイデンティと本人確認・認証の重要性、そしてデジタル庁における最新の取り組みについてご講演いただきます。

また、FIDO 認証の最新状況として、主要プラットフォームによるパスキーの対応状況、FIDO アライアンスとFIDO Japan WG の活動、そして国内外のメンバー企業・政府関係機関によるパスキーの導入と啓発活動についてのご講演を予定しています。

さらに、グローバルにおける FIDO 認証の普及を背景に、これからパスキーの導入を検討されているすべての企業・組織の方々に対してさらなる理解を深めていただくために、今回もパネルセッションなども通じてパスキーの導入がもたらす効果や今後の展望についてお伝えします。

本セミナーは、パスキーの導入を検討する企業・団体にとって、最新情報と実践的な知見を得る絶好の機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【開催概要】

- 日 時：2025 年 12 月 5 日（金） 12:00 開場／13:00 開演
- 会 場：[東京ポートシティ竹芝 ポートホール](#)（東京都港区）
- 定 員：300 名（懇親会 100 名、定員に達し次第締切）
- 参加費：無料（事前登録制）

※ 懇親会は受付にて 2,000 円（税込）を徴収させて頂き、領収書をお渡しします。

※ 学割：1,000 円（税込） - 受付時に学生証をご提示ください。

- 主催：FIDO アライアンス
- 協賛：Signature スポンサー：OneSpan Japan 株式会社
Gold スポンサー：Daon, Inc.、株式会社インターナショナルシステムリサーチ（ISR）、
Raonsecure Co.,Ltd.、Twilio Japan 合同会社、Yubico
Silver スポンサー：オーセントレンドテクノロジー株式会社、Capy 株式会社、
Keeper Security APAC 株式会社、株式会社野村総合研究所（NRI）、
NTT テクノクロス株式会社、RSA Security Japan G.K.、
株式会社ソフト技研、タレス DIS ジャパン株式会社
- 登壇予定：政府関係者、金融機関、FIDO アライアンスメンバー企業 他
（※プログラム、登壇予定の講師は予告なく変更になる場合があります）

事前登録 URL：<https://x.gd/NxTdX>

■ FIDO アライアンスについて

「高速なオンライン ID 認証」を意味する FIDO（Fast Identity Online）アライアンス（www.fidoalliance.org）は、セキュリティと利便性の両立をめざすため、2012 年に設立したグローバルな非営利団体です。堅牢な認証技術に相互運用性が確保されていない状況を改善し、ユーザーが多くの ID とパスワードを覚えなければならないという煩わしさを解消することを目的としています。FIDO アライアンスは、認証におけるパスワード依存を軽減するために、オープンで拡張性と相互運用性のあるシンプルで堅牢な「FIDO 認証」を標準化することで、オンラインサービスの本質に変革をもたらします。

【本件に関するお問い合わせ先】

FIDO アライアンス セミナー事務局

fido_seminar2025@fieldmktg.jp